

開催概要

- 日時** 令和3年1月28日(木)19時～20時30分
- 会場** 瀬崎コミュニティセンター
- 参加費** 無料
- 定員** 50名
- 対象者** まちづくり(空間活用、リノベーション、マルシェ、メディア等)に興味がある方
自分のスキル(飲食、建築、不動産、デザイン、経営等)を活かし実践者となりまちに貢献したい方

申込み方法・お問い合わせ

令和3年1月25日(月)までに
右のQRコードから申請フォームへ
主催：草加市産業振興課 Tel. 048-922-0839
協力：そうかリノベーションまちづくり協議会



まちの学校
vol.16と
同時募集

● 谷塚家守塾 ～ヤツカノキザシ～

令和3年2月6日(土)7日(日)

地域経営課題の洗い出しや目指すまちづくりの方向性の検討を行うとともに、リノベーションまちづくりの担い手である家守になるためのノウハウを学びながら周辺エリアの魅力・価値を高める事業プランを練り上げる実践的な講座!!

対象者

- やりたいお店やサービスなどを通して谷塚のまちを楽しみたい人
- 谷塚で事業を興したい人をメディアやマルシェなどのビジネスで支援したい人 など

ローカルタウンではじまる おたがいさまな暮らし

～物件と人、まちをつなぐ不動産屋のはなし～

1/28^木
19:00-20:30



殿塚 建吾
LECTURER



小嶋 直
COORDINATOR



そうかリノベーションまちづくり

草加駅東口周辺エリアに加え、谷塚駅周辺エリアについても展開

草加市では、市街地のにぎわい創出のため、リノベーションまちづくりの取組を2015年度から草加駅東口周辺エリアにて進めてきました。事業の啓発と担い手の発掘・育成に取り組んだ結果、同エリアでの事業化が進んできたことから、令和3年4月文教大学東京あだちキャンパスの開設を契機として、にぎわいの創出を図るため、谷塚駅周辺エリアについても取組を展開していくこととなりました。



谷塚で行われる富士浅間神社祭礼

顔の見える人との『そうか』らしい暮らしのつくり方

空き家などの遊休不動産を利活用することで、コミュニティの活性化や都市型産業の集積といったまちの地域経営課題を解決し、地域に新たな価値を生み出していく「リノベーションまちづくり」。今回のまちの学校では、地元松戸市で自給自足できるまちをつくるをコンセプトに掲げている不動産屋さんでもある殿塚建吾さんをお招きし、空き家を活かしたまちづくりや顔の見える人との暮らしづくりなどについて講演いただくとともにリノベーションまちづくりについて学びます。「そうか」にある空き家の活かし方、「そうか」らしい暮らしの作り方についてみんなで考えてみましょう。



LECTURER

殿塚 建吾

1984年千葉県生まれ。

omusubi不動産代表／宅地建物取引士
震災後、地元・松戸に戻りまちづくりプロジェクト「MAD City」に参画する。2014年4月に独立し、おこめをつくる不動産屋「omusubi不動産」を設立。築60年の社宅をリノベーションした「せんぱく工舎」な



COORDINATOR

小嶋 直

1980年東京都生まれ。

つなぐば家守舎代表取締役。2018年6月第一号案件「シェアアトリエつなぐば」プレオープン。「欲しい暮らしは私たちがつくる=DIY (Do it ourselves)」を合言葉に解体、断熱、廃材レスキュー、左官工事などを仲間を募りハーフビルド



千葉県松戸市 omusubi不動産

ど多くのシェアアトリエを運営。DIY可能物件の管理戸数日本一になる。2018年より松戸市にて国際芸術祭「科学と芸術の丘」を開催。2020年4月に下北沢BONUS TRACKに参画。空き家をつかったまちづくりと田んぼをきっかけにした入居者との暮らしづくりに取り組んでいる。



埼玉県草加市 シェアアトリエつなぐば

で作り上げる。今後、同施設の他のエリアの工事とともに近隣エリアのエリアリノベーションを計画。個人では「暮らしをつくる建築事務所 co-designstudio」として、木、土、鉄などの作家と協働で主に暮らしを中心とした住宅、店舗などの設計を行う。